



滋賀の縁創造実践センター
(社福)滋賀県社会福祉協議会

報道発表資料

送付先：県政記者クラブ報道各社

提供年月日： 令和4年（2022年）1月14日（金）
所 属 名： 人材部門 滋賀県福祉用具センター
担 当 名： 中原・谷
電 話/FAX： 077-567-3907 / 077-567-3967
メー ル： yogu@shigashakyo.jp

【記者会見のお知らせ】

県内初「抱え上げない介護推進事業所」を決定

進む高齢化、ケアする人も受ける人も安心できる社会に向けて
～「抱え上げない介護」を滋賀でひろげます～

滋賀県社会福祉協議会（呼称：「滋賀の縁創造実践センター」）は、介護人材の定着・確保を目指し、令和元年度から「抱え上げない介護」を推進しています。このたび「抱え上げない介護推進事業所」として、県内で初めて2つの介護事業所の推奨を決定しました。高齢化が進む中、介護の担い手は不足しています。ケアをする人・受ける人双方に負担のない「抱え上げない介護」の取組が介護現場でひろがると、誰もが安心してケアを受けられる社会の実現につながります。

本取組の詳細について、県政記者クラブで記者会見を行います。ぜひ取材をお願いします。

● 抱え上げない介護とは？

◆介護・福祉・医療の現場では入浴介助や移乗介助など、ケアを受ける方を抱え上げたり支えたりする場面が多くあります。現場の職員の負担は大きく、7割超に腰痛がみられるという調査結果があります。これは滋賀の将来を支える介護人材の確保を考える上で大きな課題です。

◆「抱え上げない介護」は介護する人・される人のどちらにも優しい「抱え上げない、引きずらない、持ち上げない」介護です。福祉用具の活用や身体の使い方などの介護技術に加えて、職場全体で腰痛リスクを低減し、ゆとりあるケアを提供することで介護現場を安全・快適なものに変えていく新たな取組です。

<「抱え上げない介護推進事業所」推奨(2ヶ所)>

- 甲賀市立介護老人保健施設ケアセンターささゆり(甲賀市)
・病院から退院後、在宅に戻る前にリハビリ等を行う入所施設です。先駆的・組織的な取組実践により推奨にいたりしました。
- 株式会社 JA ゆうハート水口ヘルパーステーション(甲賀市)
・ホームヘルパーが自宅に訪問してケアを行うサービスです。在宅ケアにおける先進的な取組実践により推奨にいたりしました。



【記者会見概要】

開催日：令和4年1月24日(月)11:00～

場 所：県庁記者会見室

登壇者：(抱え上げない介護推進事業所)

甲賀市立介護老人保健施設ケアセンターささゆり

株式会社 JA ゆうハート水口ヘルパーステーション

滋賀県社会福祉協議会 担当

今後のイベント等

- 推奨証交付式 しがけあフェスタ（介護の仕事の魅力発信イベント：滋賀県主催）
開催日：令和4年2月6日(日)11:05～11:35
場 所：イオンモール草津
内 容：ステージイベント内で交付式を実施(ブース出展も予定)。



● 「抱え上げない介護推進事業」事業内容

- (1) 抱え上げない介護実践事業所創成研修（実践をつくる・高める）*令和元年度～組織全体で取組むための体制づくりを図る研修を実施します。
- (2) 抱え上げない介護推進事業所推奨（実践をひろげる）*今年度から実施研修を修了し、取組が定着した事業所を推奨します。

◎今年度から新たに「抱え上げない介護推進事業所推奨事業」を開始し、取り組みの普及・促進を強化。

● 背景

- ◆「職場における腰痛予防対策指針」が改定され、『人力での抱え上げは、原則行わない。リフトなど福祉機器の活用を促す』ことが明示。（平成25年6月18日 厚生労働省 労働基準局安全衛生部労働衛生課）
- ◆全産業中の業務上腰痛が対策により減少しているが、社会福祉施設の腰痛件数は右肩上がりが増加。（「社会福祉施設で労働災害を防ぐために」びわこリハビリテーション専門職大学 埜田 和史 教授：月間福祉2020年9月号）
- ◆特養・障害者入所施設職員の71.5%が腰痛有。（令和2年度「介護現場の環境改善に関するアンケート調査-介護職員の腰痛と福祉用具・機器活用の実態調査-」：びわこリハビリテーション専門職大学・滋賀県社会福祉協議会共同実施）
- ◆介護職員の必要数は2040年度(令和22年度)に全国で約69万人、滋賀県で約1万人不足する。（「第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」 令和3年7月9日 厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室）
⇒介護現場では人力に頼った介護による職員の腰痛が増加、職員の定着・確保の阻害要因になっている。